

<一般会計>

4 環境まちづくり部

1 良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。

環境保全意識周知	76
ヒートアイランド対策・暑熱対策の推進	76
地球温暖化対策の推進	77
建築物の省エネ推進	78
生物多様性の推進	78
一般廃棄物処理基本計画の改定	78
食品ロス削減推進計画の策定	79

2 人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

ウォーカブルなまちづくりの検討	79
歩道のセミフラット化	80
地区の計画等の検討	80
秋葉原地域まちづくりの推進	80
飯田橋・富士見地域まちづくりの推進	81
神田駿河台地域まちづくりの推進	81
神田駅周辺地域まちづくりの推進	81
区の花さくらの再生	82
電線類地中化の推進	82
歩道の設置・拡幅整備	82
橋梁の整備	83
自転車通行環境整備	83
公園・児童遊園の整備	84
東郷元帥記念公園の整備	84
錦華公園の整備	84
主な整備予定箇所	86

3 基本構想の実現に向けて

公共空間活用検討会	85
-----------	----

環境保全意識周知

7,256千円 (6,816 千円)

拡充

▶環境政策課

区は、環境教育の充実、環境月間の啓発、環境絵画の募集・展示等を通して、区民や事業者に対し、温暖化対策など環境保全に関する普及啓発活動を行っています。

令和5年度は、「2050年脱炭素社会実現に向けた連携協定」自治体のひとつである岐阜県高山市において、区民等向けの林業体験などを含むツアーを企画する旅行会社へ費用の一部を補助します。これにより、区民等が比較的安価に体験ツアーに参加することを可能にし、区民等の環境保全に関する意識啓発を進めます。

ヒートアイランド対策・暑熱対策の推進

73,204千円 (52,525 千円)

拡充

▶環境政策課

区は、ヒートアイランド現象を緩和するため、新築の建物に対する緑化指導による緑化の推進やクールスポットの創出などに取り組んでいるほか、区民や事業者への助成や普及啓発を実施しています。

令和5年度は、令和4年度に引き続き、ヒートアイランド対策計画の改定に向けて取り組むほか、暑熱環境に配慮が必要な子どもの施設へ、日除け設備を追加で設置し、子どもたちの熱中症予防や屋外活動の機会確保を図ります。

地球温暖化対策の推進

58,049千円 (63,384 千円)

拡充

▶環境政策課

1 再生可能エネルギー電力への切替促進

区は、契約電力を再生可能エネルギー電力へ切り替えるきっかけづくりとして、切替えを行った世帯に対し 5,000 円相当の啓発品を支給しています。

令和5年度は、再生可能エネルギーの利用を促進するため、啓発品に代わる支援策として、契約電力を再生可能エネルギー電力へ切り替えた世帯に現金2万円を支給します。

2 EVインフラ等普及に向けた調査・検討

区は、二酸化炭素を排出しない電気自動車などのクリーンエネルギー自動車や充電設備等の導入を積極的に進めるため、導入に係る費用の一部を助成しています。

令和5年度は、クリーンエネルギー自動車や充電設備などのさらなる普及促進に向け、区内でEVインフラ等を整備するため、他自治体の事例や整備・運営方法などを調査・検討します。

3 地方連携による産地指定の再エネ供給・再エネ施設整備の検討

区は、「2050年脱炭素社会実現に向けた連携協定」を締結している岐阜県高山市や群馬県嬲恋村、秋田県五城目町等と連携し、二酸化炭素排出量の削減につながる再生可能エネルギーを産地指定で区内事業者へ供給する仕組みの構築に向け取り組んでいます。

令和5年度は、産地指定の再生可能エネルギーを区内事業者へ供給しながら地方にも貢献する仕組みを継続するとともに、再生可能エネルギーのさらなる供給のための施設整備に向けた検討を進めます。

4 地方連携による森林整備事業

区は、都内における連携事業として、特別区、多摩6市町村及び東京都と連携して多摩地域の森林保全を推進し、広域的で持続可能な森林循環の確立に向け取り組んでいます。

令和5年度は、既存の連携自治体に加え、新たに特別区、多摩6市町村及び東京都で連携協定を締結することで、多摩地区の森林整備事業への協力や森林保全と雇用創出に貢献します。

建築物の省エネ推進

198,280千円 (120,624 千円)

拡充

▶環境政策課

新築建物については、建築物環境計画書制度に基づく事前協議により環境に配慮した建物の省エネ化を推進しています。また、既存建物については、省エネルギー改修等を行う区内事業者等への助成制度の普及・啓発を行い、事業所ビル等の建物の低炭素化に取り組んでいます。

令和5年度は、原油価格・物価高騰の影響を受けている区民・事業者等に対する支援及び電力需給のひっ迫が見込まれる中での節電への取組みを一層促進するため、二酸化炭素排出量の削減効果が高いLED照明への改修費用の補助率を30%から50%に拡充するとともに、補助限度額を引き上げます。

生物多様性の推進

10,481千円 (15,030 千円)

拡充

▶環境政策課

区は、自然と共生した都心のまちをめざして、区内の生物多様性の保全に努めるとともに、区民等が生物多様性を意識して主体的に行動できる仕組みづくりに取り組んでいます。

令和5年度は、令和4年度に引き続き、ちよだ生物多様性推進プランの見直しに向けて取り組むほか、スマートフォンアプリを活用した区民参加型の生き物調査を実施し、生物多様性に関する意識向上を図ります。

一般廃棄物処理基本計画の改定

8,000千円 (ー 千円)

新規

▶千代田清掃事務所

現行の「第4次千代田区一般廃棄物処理基本計画」は、「環境モデル都市千代田資源循環型社会の構築に向けて」を具現化するために、平成29年12月に策定されました。

この計画は平成29年度から令和7年度までの計画ですが、コロナ禍において、ごみ排出量の変化が著しく、中間年の見直しを見送ったことから、次期計画の策定期限を1年前倒しして、令和7年度からの次期計画策定に向けた調査や検討に着手します。

食品ロス削減推進計画の策定

7,000千円 (ー 千円)

新規

▶千代田清掃事務所

食品ロスを削減していくためには、区、区民、関係団体・事業者等がそれぞれの立場において主体的に食品ロス削減に取り組み、社会全体として対応し、食品を無駄にしない意識の醸成とその定着を図っていくことが重要です。

令和5年度は、区、区民、関係団体・事業者等が連携をとりながら食品ロス削減の取組みを推進することを目的に、食品ロス削減推進計画を策定します。

ウォーカブルなまちづくりの検討

33,083千円 (8,192 千円)

拡充

▶道路公園課、景観・都市計画課

千代田区都市計画マスタープランで定めた将来像「つながる都心」の実現に向け、令和4年6月に「千代田区ウォーカブルまちづくりデザイン」を策定し、歩きやすく居心地の良い「ウォーカブルなまちづくり」を推進しています。

令和5年度は、道路などにおけるプレイスメイキング※等の実証実験の箇所を3か所から6か所に増やすとともに、公民連携によるウォーカブルなまちづくりの実現をめざし、都市再生整備計画の策定に取り組みます。また、屋上空間や公開空地等の地域資源の活用方法等について研究するほか、道路・交通体系のバリアフリー化やユニバーサルデザイン化に向けた調査・検討を行います。

※プレイスメイキング：都市の中に、単なるスペースだけでなく、居心地のよい場所、楽しく過ごせる場所（プレイス）をつくること、また、個人の精神的なよりどころとなる場をその人自身が住んでいる地域や関わりのある地域で自ら創出・再生することです。

歩道のセミフラット化

140,000千円 (20,000 千円)

▶道路公園課

様々な道路整備事業（歩道設置・拡幅、バリアフリー化、無電柱化など）が既に完了している路線のうち、セミフラット化されていない歩道については、段差をなくし歩きやすい歩行空間の確保を推進するため、歩道のセミフラット化に取り組んでいます。

令和5年度は、「二七通り（九段南二丁目～三番町）」の調査・設計を開始するほか、駿河台道灌道（神田駿河台三丁目）のセミフラット工事に着手します。

地区の計画等の検討

30,992千円 (26,896 千円)

▶景観・都市計画課、地域まちづくり課

地域特性を踏まえた、きめ細やかなまちづくりのルールである地区計画制度の適用にあたっては、地域におけるまちの将来像の共有と合意形成が大切です。このため、区は、必要な調査の実施や整備構想等の作成、地域特性を踏まえた地区計画制度の適用に向けた検討や、地域との協議・調整を実施しています。

令和5年度は、令和4年度に引き続き、再開発事業の事前・事後における評価制度の構築に向けて検討を進めるとともに、神保町地区等において新たな地区計画の策定や地区計画の変更に向けたまちづくりの動向に対応していきます。

秋葉原地域まちづくりの推進

6,500千円 (6,500 千円)

▶地域まちづくり課

秋葉原地域では、駅周辺の機能更新や川沿いにおける親水空間の整備、公共施設の機能更新などが課題となっており、外神田一丁目においては、令和元年12月に「外神田一丁目計画基本構想」を改定し、地区計画策定に向けた勉強会などを行ってきました。

また、神田佐久間町地区では、地域課題の解決に向け、地権者等によるまちづくりの検討が進められています。

令和5年度は、引き続き地区計画の検討や公共施設の機能更新に向けた調整を行っていきます。

飯田橋・富士見地域まちづくりの推進

10,554千円 (14,554 千円)

▶地域まちづくり課

飯田橋・富士見地域では、地域のまちづくり協議会において「基本構想」を策定し、飯田橋駅及び駅周辺の環境整備に向けてまちづくりを推進しています。

令和5年度は、引き続きJR飯田橋駅の安全対策を推進するとともに、基本構想の具現化に向けて、飯田橋駅東口周辺で検討されている複数の開発計画の調整を行っていきます。

神田駿河台地域まちづくりの推進

256,054千円※ (203,054 千円)

▶地域まちづくり課

※ うち250,000千円は、御茶ノ水駅聖橋口駅前広場整備に係る負担金

神田駿河台地域では、地域のまちづくり協議会において地域の課題解決に向けたまちづくりを進めており、大規模な開発事業に関しては計画の段階から議論し、地域の環境改善につながる整備を行ってきました。

令和5年度は、御茶ノ水駅聖橋口駅前広場の供用開始に向け整備を進めるとともに、茗溪通り（御茶ノ水駅前）のにぎわい形成に向け交通量調査等を行い、歩行者専用道路化に向けた検討を進めます。

神田駅周辺地域まちづくりの推進

9,318千円 (9,318 千円)

▶地域まちづくり課

神田駅周辺地域では、神田駅周辺環境整備懇話会を設置し、商業・業務・住居の各機能が調和し、活気とにぎわいがあり、安全で安心して活動できるまちをめざすため、地域と協働しながらまちづくりを進めています。

神田警察通り沿道では、神田警察通り沿道整備推進協議会を設置し、地域の将来像を描き、その実現に向けた取組みを進めています。

令和5年度は、引き続き沿道だけでなく、その周辺を含めた地域の魅力を高め、道路空間や広場など公共的な空間のにぎわい形成を実現していくためのまちづくりの検討を行っていきます。

区の花さくらの再生

20,672千円 (8,301 千円)

拡充

▶道路公園課

千鳥ヶ淵や外濠公園など名所のさくらが老朽化しているため、区は、平成15年度に「区の花さくら再生計画」を策定し、区民や関係者による「区の花さくら連絡会」での意見交換などを行いながら、さくらの維持・再生を推進しています。

一方、計画策定から19年が経過し、さくらの植栽本数や生育状態、生育環境に変化が見られていることから、令和5年度は、さくらの生育状態に応じた育成管理や更新管理、後継樹木の育成を進めるための手法等について調査・検討します。

電線類地中化の推進

592,000千円 (929,079 千円)

▶道路公園課

区は、災害時の円滑な救援活動に資するとともに、歩行空間の確保や景観の向上に寄与するため、電線類の地中化に取り組んでいます。

令和5年度は、引き続き2地区の電線類地中化工事と1地区の設計に取り組みます。

■整備スケジュール

令和5年度 工事：多町大通り南周辺地区、二七通り東地区
設計：二七通り西地区

歩道の設置・拡幅整備

79,628千円 (337,366 千円)

▶道路公園課

区は、交通事故の防止を図るとともに、歩行者や車椅子利用者などが安心して歩道を利用できる歩行空間を確保するため、歩道の設置・拡幅整備に取り組んでいます。

令和5年度は、「清州橋通り（靖国通り以南）」など3地区の調査・設計に取り組むほか、引き続き1地区の工事に取り組みます。

■整備スケジュール

令和5年度 工事：明大通り（Ⅱ期）
調査・設計：五十通り、神田駅ガード下、清州橋通り（靖国通り以南）

橋梁の整備

2,965,354千円 (1,106,800 千円)

▶道路公園課

区が管理する橋梁は、大正から昭和初期までに架けられたものが多い。あり、「千代田区橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、予防保全の観点から5年に1回点検のうえ、傷んだ箇所の修繕や、大きな地震に備えて壊れにくい丈夫な橋とするための耐震化、塗膜の有害物質を除去するための塗装塗替を行っています。

令和5年度は、「お茶の水橋」及び「後楽橋」に加え、新たに「雉子橋」の補修・補強工事に取り組むほか、「新川橋」の塗装塗替工事や「南堀留橋」など3橋の塗装塗替に係る設計に取り組みます。

■整備スケジュール

令和5年度 工事（補修補強）：お茶の水橋、後楽橋、雉子橋

工事（塗装塗替）：新川橋

設計（塗装塗替）：南堀留橋、三崎橋、隼町無名橋

自転車通行環境整備

10,000千円 (390,000 千円)

▶道路公園課

近年、健康や環境、災害対策などへの意識の高まりにより、自転車を利用するニーズは高まっています。一方で、交通安全上の問題も増加していることから、区は、自転車の安全な走行環境の整備を進めています。

令和5年度は、神田警察通りにおいて、Ⅱ期区間の工事及びⅢ期区間以降の設計を実施します。

公園・児童遊園の整備

261,430千円 (192,454 千円)

▶道路公園課

区は、平成 19 年に策定した「公園・児童遊園等整備方針」に基づき、公園及び児童遊園等が安全で快適に利用できるよう整備や維持管理を行っています。

令和5年度は、神保町愛全公園の改修工事を実施するほか、公園・児童遊園等整備方針の改定に向け、令和4年度に実施した区立公園・児童遊園等の実態調査結果の検証を行い、改定整備方針の素案を策定します。

東郷元帥記念公園の整備

365,000千円 (285,000 千円)

▶道路公園課

東郷元帥記念公園は、歴史的経緯を尊重しながら、より一層地域に愛される公園としてリニューアルするため、改修整備を進めており、令和3年度に下段部の工事を完了しました。

令和5年度は、引き続き上・中段部の工事を進め、令和6年度のリニューアルオープンをめざします。

錦華公園の整備

390,000千円 (227,000 千円)

▶道路公園課

錦華公園は、隣接するお茶の水小学校・幼稚園の建替えと連携しつつ、より地域に愛される公園としてリニューアルするため、これまで地域住民や学校関係者等の意見を伺いながら整備内容をまとめてきました。

令和5年度は、引き続き公園整備工事を進め、令和6年度のリニューアルオープンをめざします。

公共空間活用検討会

12,280千円 (4,848千円)

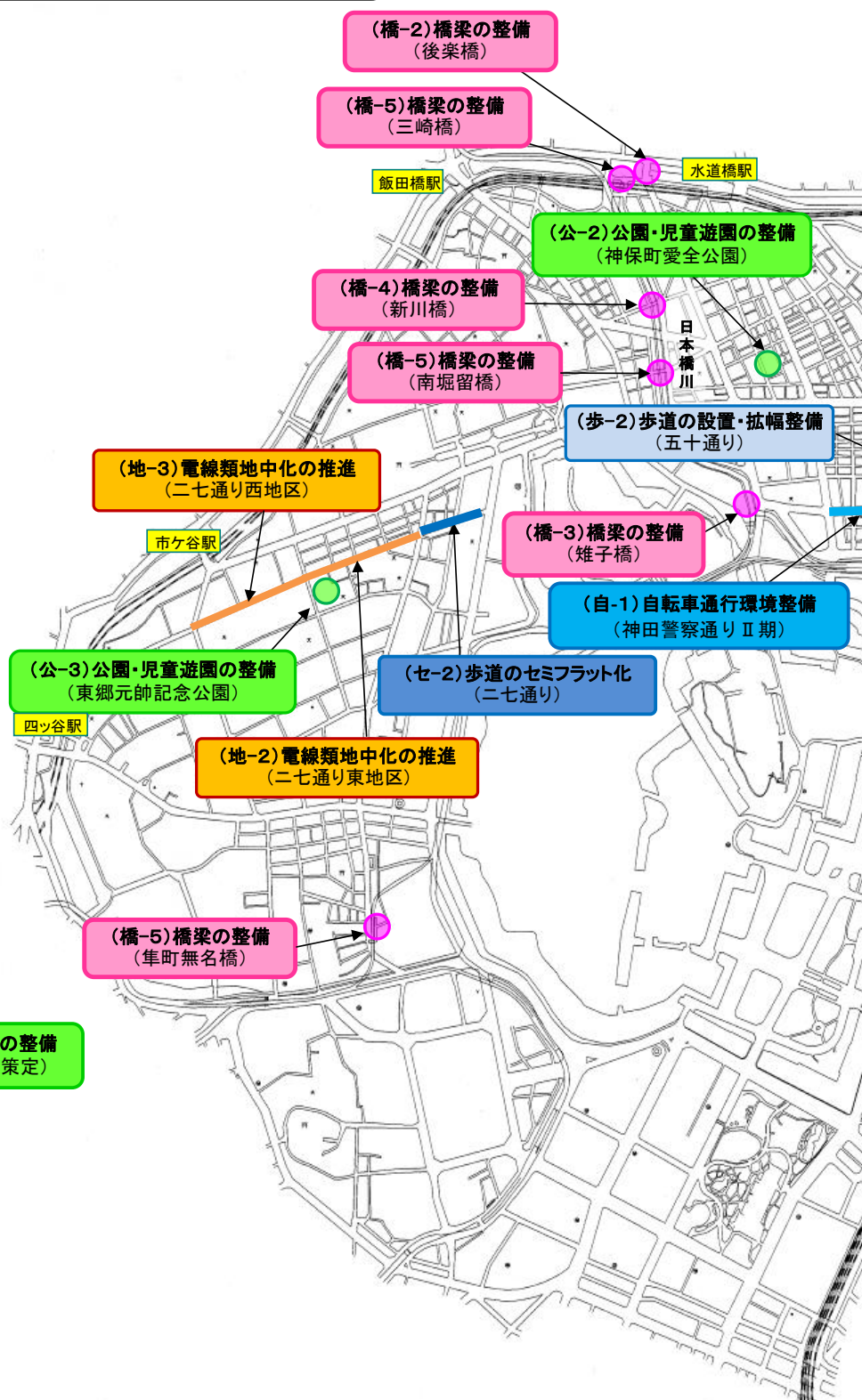
拡充

▶ 景観・都市計画課

令和3年5月に改定した「都市計画マスタープラン」で描いた将来像の実現のためには、まちに関わる多様な主体が、それぞれの力を活かして創意工夫を重ね、文化資源をまちの魅力につなげたり、地域のつながりを強めたりするなど、具体的なまちづくりを展開することが重要です。

令和5年度は、令和4年度に引き続き、まちづくりの合意形成のあり方及びまちづくりプラットフォームについて検討するとともに、まちづくりプラットフォームの実行性等を検証するため、実証実験を行います。あわせて、検討会での議論を踏まえて、区が所有するまちづくりに関する様々なデータ等を集約・整理し、誰でもまちづくりに関する情報をスムーズに入手できる仕組みを構築します。

令和5年度 主な整備予定箇所 環境まちづくり部 道路公園課





令和5年度 主な整備予定箇所一覧表

			工	委
			事	託
★バリアフリー歩行空間の整備＜電線類地中化の推進＞				
地-1	電線共同溝整備	多町大通り南周辺地区		○
地-2	電線共同溝整備	二七通り東地区	○	○
地-3	電線共同溝整備（設計）	二七通り西地区		○
★バリアフリー歩行空間の整備＜歩道の設置・拡幅整備＞				
歩-1	歩道拡幅工事	明大通りⅡ期	○	
歩-2	歩道拡幅工事（設計・調査）	五十通り		○
歩-3	歩道拡幅工事（設計・調査）	神田駅ガード下		○
歩-4	歩道拡幅工事（設計・調査）	清州橋通り（靖国通り以南）		○
★橋梁の整備				
橋-1	橋梁補修・補強工事	お茶の水橋	○	○
橋-2	橋梁補修・補強工事	後楽橋	○	○
橋-3	橋梁補修・補強工事	雉子橋	○	○
橋-4	橋梁塗装塗替工事	新川橋	○	
橋-5	橋梁塗装塗替工事（設計）	南堀留橋、三崎橋、隼町無名橋		○
★自転車通行環境整備				
自-1	自転車通行環境整備	神田警察通りⅡ期	○	
自-2	自転車通行環境整備（設計）	神田警察通りⅢ期		○
★歩道のセミフラット化				
セ-1	セミフラット化工事	駿河台道灌道	○	○
セ-2	セミフラット化工事（設計・調査）	二七通り		○
★公園・児童遊園の整備				
公-1	改定整備方針の素案策定	公園・児童遊園等		○
公-2	公園整備	神保町愛全公園	○	○
公-3	公園整備	東郷元帥記念公園	○	○
公-4	公園整備	錦華公園	○	○

